



共振装置の驚異的 機能を使用した 現実生活への応用



株式会社リファインウェーブ科学技術研究所

議題

第一章 共振現象とは何か？

第二章 共振装置による現実生活への応用

1. 共振飲料水による体内の活性酸素反応試験
2. 驚異的な食用油の改質による酸化度試験
3. 鉱物性油の改質によるボイラー燃料の削減

第三章 過去データ・エビデンスのオムニバス

1. 二酸化塩素の共振化における豚コロナウイルス試験
2. 在日米軍基地における汚水処理試験データ
3. アクセサリー含む共振化の特性データ
4. 電磁波削減の簡易的テスト
5. フェライトコアによる驚異的な現実生活への応用
6. 電池に貼る金属製シールによる共振特性
7. 自動車クーラント、フェライトコア、共振装置の直接転写による驚異的なエンジン特性の改質



はじめに

- 地球上にある、あらゆる物質（個体、液体、気体）全てに固有振動数が存在し（構造物が持つ固有の振動数、共振周波数）固有振動数は質量が大きくなるほど低くなり、剛性が高くなるほど高くなります。
- 共振増幅の現象を造り出すには各物質の持つ固有振動数と同じ周波数帯域を与えるか対象物質の持つ固有振動数の整数倍または整数分の1の周波数帯域を与える事により振動が増幅され強い揺れが起きます、これを共振と言い、その周波数は共振波と言われます。

第一章 共振とは何か？（1）

共振装置の最大の特徴は縦波と横波の発生による（量子もつれ）共振技術を駆使した現実生活への応用が可能になる！

横波と縦波の違いは、波の揺れる方向の違いです。波の進行方向と垂直なのが横波、進行方向なのが縦波です、地震が来た時に最初に到達する波が縦波のP波で後に到達する波が横波のS波になります。

縦波の進行スピードは横波より早い特性があります。

現実生活での身近な横波は太陽光の光などに挙げられます。

声や音楽の音は縦波になります、また人の脳は右脳と左脳に分かれている事は当たり前には知られていますが、右脳と左脳の圧電的作用により縦波の重力波とも言われる4Hz以下の θ 波や δ 波に縦波のスカラー波（電氣的重力波）とも言われている発生率がある事が分かり始めています。



第一章 共振とは何か？（2）

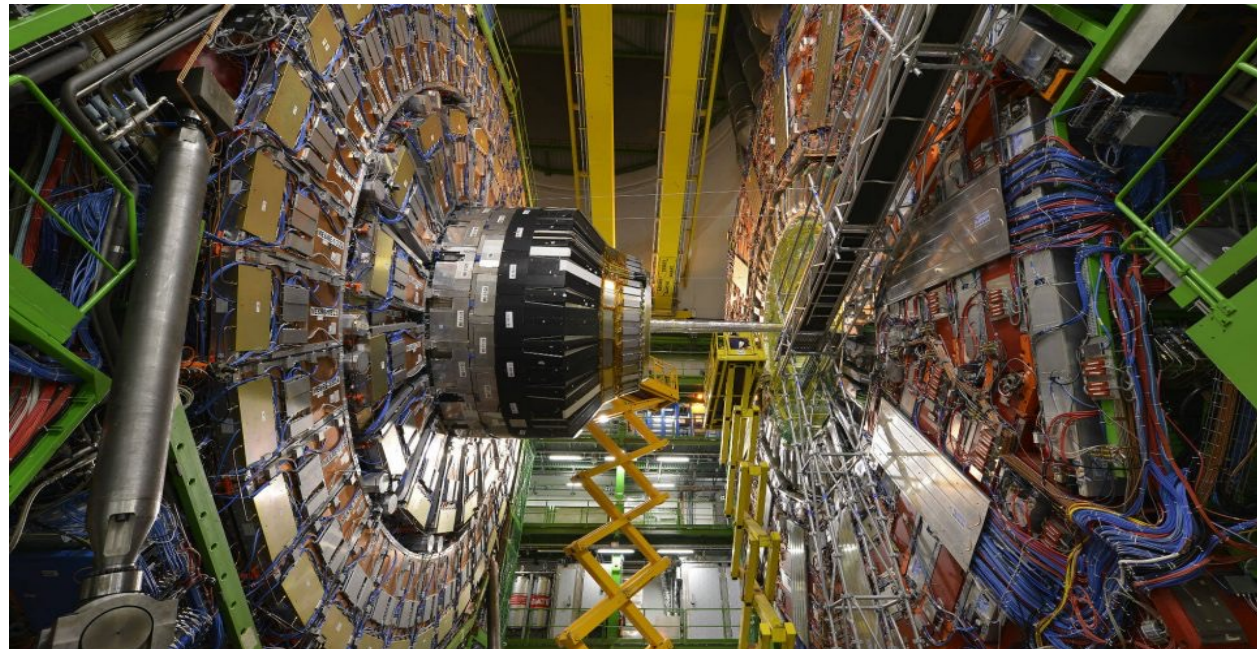
スイスジュネーブにあるCERN（大型ハドロン衝突型加速器）の一部の研究者で試験されている内容が、陽子と陽子の衝突により発生した未知の粒子にあたる一部が、トンネル効果で知られる α 粒子とは違いパラレルワールド（並行世界）へ通過する性質を確認しており、一方、霊能者（シャーマン）が深い深層心理状態で発する θ 波や δ 波にもパラレルワールドへ通過する性質があり、どの様な過程を経て次元を超えて行くのか？を調査している研究チームがあるそうです。

現在、量子論の観点ではパラレルワールドは10の500乗も存在すると考えられております。

つまり我々人間の意識には科学では追いつけない、未知なるエネルギー体が存在している事も分かり始めて来ています。

それが人のチャクラを意識した意識エネルギーでありまた意識科学とも言われて来ています。

今、勇気を持って意識世界を研究する科学者が世界中で現れる様になって来たのも、心を扱わない科学が心を持ち出さないと解決出来ない程、困難な世界観にあり、時代が持つエネルギーの現れではないでしょうか？



大型ハドロン衝突型加速器

第一章 共振とは何か？ (3)

例えば意識がモノの振る舞いに影響する。現在のコンピューターの基本を造った J・フォン・ノイマンが言っている意識がモノの振る舞いに影響する。

アメリカのディーンラディン博士が2014年に発表した、人は4.8秒先の未来を脳が感知する。入射したエネルギーの振動パターンの一部が水の排除層構造に新たに変化をもたらすとしたら、何らかの情報が保持され電磁波によって伝えられた構造的な情報になり水を介した電子メールの様な物と言えるとノーベル賞受賞者のリュック・モンタニエが発表した水の電磁波による情報伝達現象など意識エネルギーを研究する科学者が多く現れ始めて来ています。



J・フォン・ノイマン



ディーンラディン博士



リュック・モンタニエ

共振作用による最大の特徴では浸透作用、伝動作用（転写作用）運搬作用等の機能性が発生します。

1. 共振飲料水による体内の活性酸素反応試験

（1）飲料水含めた全ての液体の機能性を向上化させていく

浸透作用

私達の身体を構成している細胞総数は約60兆個とも言われていますが、昨今37兆個とも言われ下方修正されて来ています。

私たちの身体の中では日々約3000億個の細胞が死に続けていると言われています。

一方では死んでゆく細胞の数と、ほぼ同じ同数の細胞が誕生して生体の恒常性が保たれています。

数ヶ月も経つと体を構成する大部分の細胞が更新されていることとなります。

また1日に発生するがん細胞は約5000個も発生する事が分かり始めて来ています。

共振作用による最大の特徴では浸透作用、伝動作用（転写作用）運搬作用等の機能性が発生します。

主な細胞の更新速度

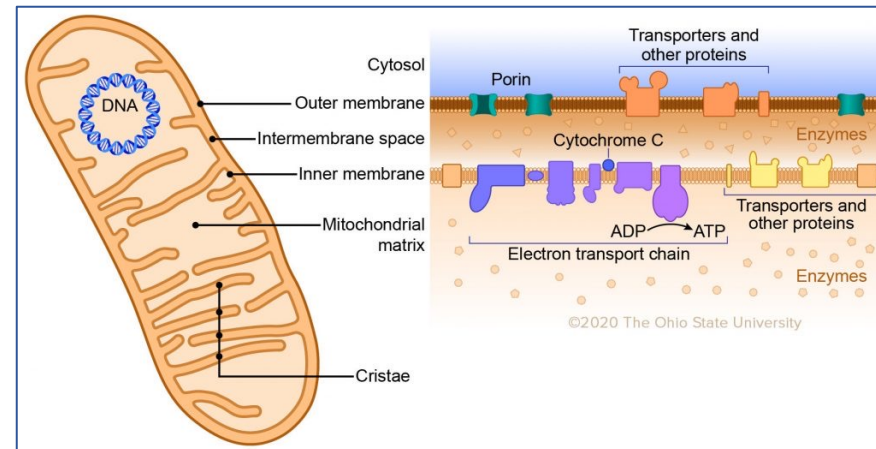
脳	早い細胞は1ヶ月で約40%、遅い細胞は約1年で全て入れ替わる。
胃の粘膜	約3日で全て入れ替わる。
腸の微絨	約1日で全て入れ替わる。
肝	早い細胞は1ヶ月で約96%、遅い細胞は約1年で全て入れ替わる。
腎臓	早い細胞は1ヶ月で約90%、遅い細胞は約1年で全て入れ替わる。
筋肉	早い細胞は1ヶ月で約60%、遅い細胞は約200日で全て入れ替わる。
皮膚	約1ヶ月で全て入れ替わる。
血液	4.5～5.0リットルの血液は100～120日間で全て入れ替わる。
骨	幼児期は約1年半、成長期は約2年未満、成人は約2年半、70歳以上は約3年で入れ替わる
肌	10歳代は約20日、20歳代は約28日、30歳代は約40日、40歳代は約 55日、50歳代は約75日60歳代は約100日で全て入れ替わる。

第二章 共振装置による現実生活への応用（2）

人間の細胞内小器官が行っている生命活動において最も重要な仕事はタンパク質の分解と合成、エネルギー生成と言われ、タンパク質の分解と合成により私達人間の様々なパーツを作っております。
その作業はリモデリング（新陳代謝）と言われており、使用するエネルギーはATP（アデノシン三リン酸）と言われ生命体のエネルギー通貨、又は生命体の電池の様な物として地球上の生物に必要不可欠な要素になります。

ATPを使って生命体の生体物質の合成、筋肉の収縮、能動輸送、解糖、生殖など生命維持に必要な作業を行っています。
また、ATPには糖質、脂質、タンパク質、酸素、水素が大いに関与しています、それなら最初からイオン化に優れた飲料水等を取り入れる事で、よりATPサイクルに貢献するのではないかと指摘され始めています！

ATPは細胞内ミトコンドリアによって生成され、人のミトコンドリア全数は体重の10分の1も占めると概算されています。
サイズは長さ1 μm ~5 μm 、幅0.5 μm 単位で断面は草履のような形の小体です。
大部分がケイ素成分の膜構造になり膜面にはチトクロームなどの酸化還元に関与する酵素粒子が付着し活動します。
したがって、ミトコンドリア内では、ちょっとした不具合でも活性酸素が大量に発生し様々な病気の原因を作り出してしまいますが、抗酸化力の強いケイ素は、この防備装置として働いている事も分かり始めて来ています。



ミトコンドリア

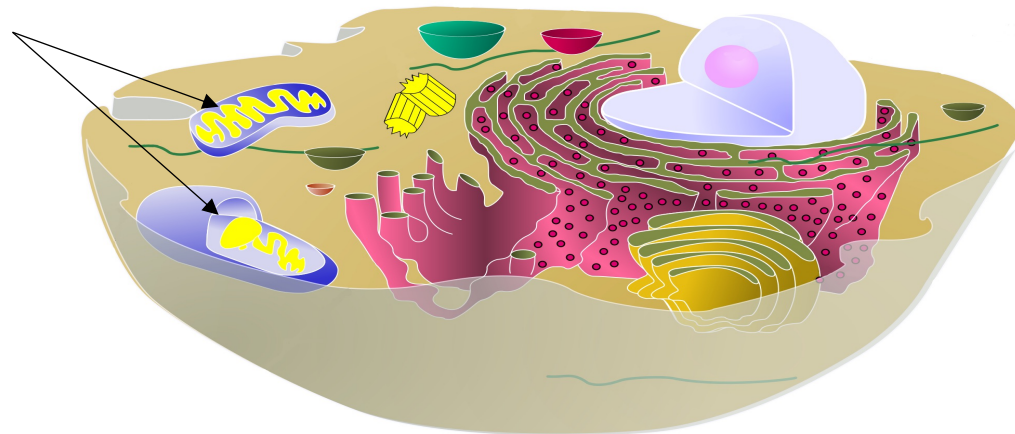
ATPの生成過程をクエン酸回路、クレブス回路とも言われ正確にはミトコンドリア内のATP合成酵素の回転運動によるものとされており、体温調整、発汗、尿作用、ホルモン系、神経系の物質まで生成し細胞内遺伝子のスイッチのON.OFFまで操作していると指摘されています。

またイオン化に優れた水自体が深く関与し、ATP合成酵素の電気的エネルギーを供給しているとも考えられており、つまり水とミトコンドリアの共同作業により生体エネルギーが作られていると言っても過言ではありません。

そのミトコンドリアが我々人間の身体の中で最も多く存在する箇所が脳と筋肉になります。又、それらを最も駆使する職業がアスリートになる訳です。

アスリートは脳の俊敏な判断により筋肉の瞬発力で活動する訳ですが、ミトコンドリアの消費力が高い為に、そういう意味ではアスリートこそ浸透性や伝動性、運搬性に優れた水を常日頃から飲料する事で体調管理に促進すると考えられます。

ミトコンドリア



ミトコンドリア

第二章 共振装置による現実生活への応用（4）

共振装置の驚異的な機能で造りあげた、飲料水による血液内の活性酸素反応試験

共振作用で作上げた飲料水を取り入れる事で、血液内の活性酸素等（ヒドロキシルラジカル、スーパーオキシドラジカル、一重項酸素、過酸化水素）に素早く反応し、恒常性維持機能に優れる事に期待出来ると言えます。

※普通の酸素を猫に例えるなら活性酸素（ヒドロキシルラジカル）はライオン位の反応になると例えられます。

通常、我々人間は水分を取り入れ飲料後に数時間掛け飲料量の10分の1位しか血液内から体内細胞へは取り込む仕組みはありません。

その他の水分は唾液や汗、尿などで排出されて行きます。

飲料後は小腸の腸管粘膜細胞あたりからイオン化（ H^+ と OH^- ）され門脈から肝臓を通じ血管へ流れ体内に取り込まれる仕組みを持ちます。

仮に1Lの水分を腸管粘膜細胞から門脈へ取り込むには18Kカロリーものエネルギーを消費すると言われています。

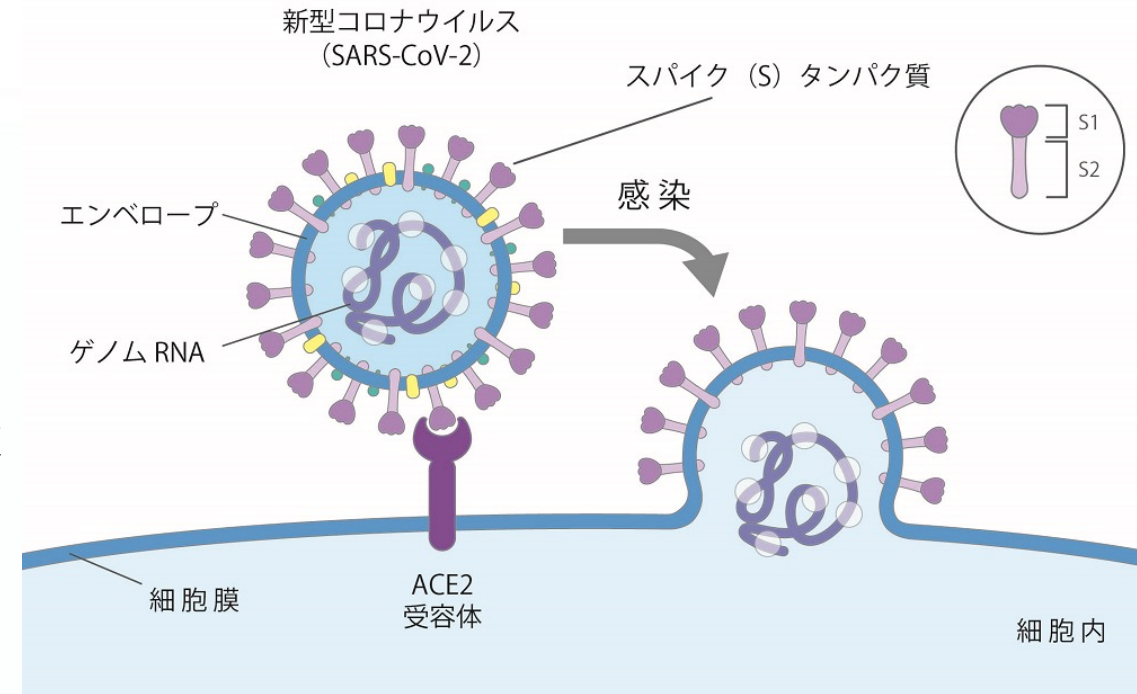
※ここで少し興味深い事が分かり始めて来た話しをしますが、コロナウィルスの世界的蔓延？または策略？なのかは、さておきコロナを通じ、風邪のひきはじめのメカニズムが分かり始めてきています。

現代医学でも正式に風邪のひくメカニズムがハッキリと分からないまま来ていましたが、コロナウィルスの体内からの侵入経路の一部で小腸の腸管粘膜細胞あたりから侵入することが分かりはじめています。

また風邪の犯人であるのもウイルスであり小腸の腸管粘膜細胞から侵入する事が分かり始めてきました。



小腸の粘膜にはACE2受容体（エース2受容体、正式名称はアンジオテンシン変換酵素2）と呼ばれる血圧を上昇させるアンジオテンシンの働きを調整する酵素が気道にあるACE2受容体の20倍以上もあり、そこからの侵入で風邪のウイルスが体内に入り込み門脈から肝臓を経て毛細血管を通じ全身に巡る訳です。（ACE2受容体は脳や血管内にも存在します）

昔の人はエビデンスなどに捉われなくとも、おなか周りを腹巻で温める事で風邪を予防出来る知恵を持っていたんですね！古来から伝わる日本人の知恵に現代医学が今頃、追いついてきたのも事実と言える訳ですね！



（2）伝動作用（転写作用）

つまり飲料水クラスター（水分子サイズ）のサイズダウンを可能にし電子活動の活性化（伝動作用）を促進させる事で血液内の数値に素早く変化と反応性をもたらす事に成果を出しています。

5.2 ご依頼サンプルの結果

結果一覧：粒子径と粒子濃度

サンプル名	Mean (nm)	Mode (nm)	Concentration* (particles / mL)
ASEA Water	123.9 +/- 9.2	98.4 +/- 12.7	1.09e+008 +/- 1.53e+007
Super Electron Water 528	41.9 +/- 26.0	40.7 +/- 25.4	1.16e+006 +/- 6.99e+005
Super Electron Water 72	37.2 +/- 23.2	32.7 +/- 20.1	3.13e+005 +/- 1.17e+005

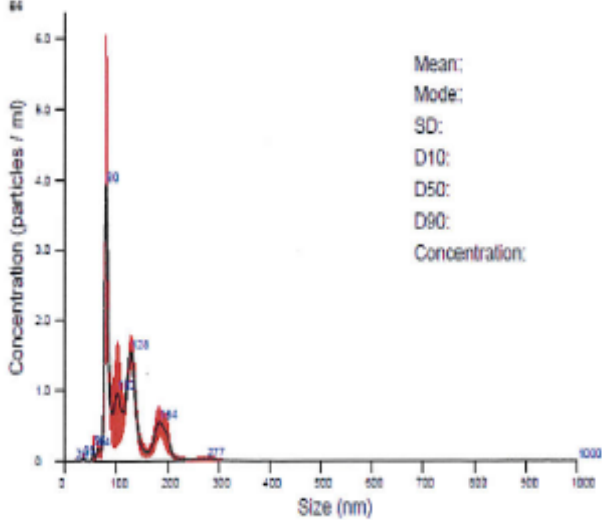
水分子クラスター

* 1.09e+008 = 1.09 x 10⁸ particles/mL

各々のサンプルの測定結果は、以下に記載いたします。


5.2.1 ASEA Water

方法：サンプル原液を測定した。測定は4回行った。
結果：結果を以下に示します。*PDFデータ抜粋



Mean:	123.9 +/- 9.2 nm
Mode:	98.4 +/- 12.7 nm
SD:	49.3 +/- 12.1 nm
D10:	82.7 +/- 4.0 nm
D50:	105.3 +/- 10.6 nm
D90:	182.0 +/- 16.4 nm
Concentration:	1.09e+008 +/- 1.53e+007 particles/ml

粒度分布図=4回測定平均、縦軸=粒子濃度(粒子数×10⁴/mL)/横軸=粒子サイズ(nm)、赤=誤差

 Quantum Design Japan

第二章 共振装置による現実生活への応用（6）

本来、血液内の活性酸素数値は極めて安定的と言われ、月単位の反応試験になるのが定説です。経口補水で取り入れられた機能性飲料水が短時間で血液内数値と反応する事は極めて懐疑的であり医学的、科学的な見解からは弾かれてしまいます。

何故なら現代医学を創り出したロックフェラーの学びやルールが未だ存在するからなんです。世界中の製薬会社や研究機関では日夜、経口補水にて人細胞へのドラッグデリバリーシステムを研究している訳で他なりません！



世界の皇帝 デービッド・ロックフェラー（故人）



人血液ph 7.4 ± 0.5
モル数値 1.7~3.8

ヒトの細胞は、最小サイズのリンパ球で直径約5 μm 、0.005mmになり最大サイズのひとつで卵子細胞は約120 μm の0.12mm 一般的な細胞は10-20 μm 0.01~0.02mmであります。

参考までに精子細胞は約60 μm の0.06mm

第二章 共振装置による現実生活への応用 (7)

活性酸素反応試験

活性酸素・フリーラジカルを簡単にその場で測定

2015年9月6日13時56分
血液活性酸素測定 380

2015年9月6日14時43分
血液活性酸素測定 321
1回目の試験結果以降、電子活性水500ml飲料後、測定した結果です。
通常血液内の活性酸素濃度は極めて安定し、測定試験は過単位でなければ反応が困難な試験になります。
この試験結果からも分かる様にわずか47分間で飲料、採血測定、遠心分離まで入る試験ですが活性酸素反応における非科学的とまで高まる結果です。尚、試験器の精度は5%前後の誤差になります。

09/06/2015 13:56
d-ROMS
Cell: A
dABS 0.413

09/06/2015 14:43
d-ROMS
Cell: A
dABS 0.287

ABS0 : 0.3088
dABS1 : 0.0572
dABS2 : 0.0546
MEAN dABS : 0.0559
CV : 3.2745
SD : 0.0018
CONC: 300 U.CARR
- HIGH VALUE -

ABS0 : 0.1922
dABS1 : 0.0478
dABS2 : 0.0460
MEAN dABS : 0.0473
CV : 1.4773
SD : 0.0007
CONC: 321 U.CARR
- HIGH VALUE -

09/06/2015 13:56
BAP
Cell: B
ABS1 : 1.2509
ABS2 : 0.9950
dABS : -0.2560
CONC: 1950 uM
- LOW VALUE -

09/06/2015 14:43
BAP
Cell: B
ABS1 : 1.2950
ABS2 : 1.0522
dABS : -0.2436
CONC: 1063 uM
- LOW VALUE -

368 U.CARR 321 U.CARR

IRLE CARRIO DUO
Rel. 1.21 - 0516

FREE CARRIO DUO
Rel. 1.21 - 0516

065
09/09/2019 16:04
d-ROMS
Cell: A

ABS 0.2503

ABS 0.1743

ABS 0.2693

ABS 0.1715

ABS0 : 0.1743
dABS1 : 0.0381
dABS2 : 0.0380
MEAN dABS : 0.0380
CV : 0.2093
SD : 0.0001
CONC: 256 U.CARR

065
09/09/2019 16:07
BAP
Cell: B

ABS1 : 1.0294
ABS2 : 0.8011
dABS : -0.2283

CONC: 1689 uM

256 U.CARR

329 U.CARR

015
15/07/2016 13:14
d-ROMS
Cell: B

dABS 0.384

dABS 0.191

ABS0 : 0.1985
dABS1 : 0.0570
dABS2 : 0.0560
MEAN dABS : 0.0565
CV : 1.2306
SD : 0.0007
CONC: 395 U.CARR

- HIGH VALUE -

395 U.CARR

015
15/07/2016 14:19
d-ROMS
Cell: B

dABS 0.273

dABS 0.170

ABS0 : 0.1702
dABS1 : 0.0514
dABS2 : 0.0516
MEAN dABS : 0.0515
CV : 0.2835
SD : 0.0001
CONC: 360 U.CARR

- HIGH VALUE -

360 U.CARR

第二章 共振装置による現実生活への応用（8）

しかしながら周波数の電気的特性と水の心を学び理解する事で可能になったのが共振装置の脅威的な特性です！

共振機能水には水分子をハニカム構造体、またはキューブ体構造を造り上げ、特に528hzにはその作用が強く発生します。

また！ここで少し興味深いお話を皆さんにお伝えします、我々人間の記憶は何処に存在するのか？と多くの医学者が未だ議論しており、脳や心臓でもなく、また臓器そのものでもない事が議論されています。

もちろん魂は肉体を車と同じ様に借り物としている事はスピリチュアルサイエンスが進む現代では理解が深くなって来ておりますが！

以前！肉体には記憶の保管機能は存在しないのかと議論は続いております？

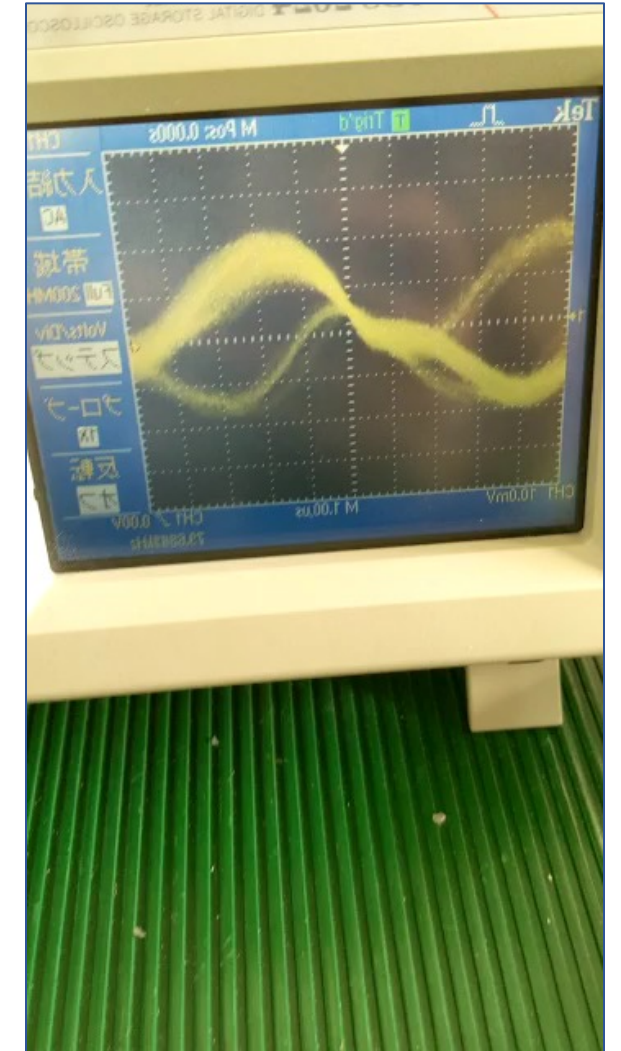
では興味深い人体の話に入りますが！

人細胞にはマイクロチューブルと言われる小器官が存在します！

Before



After



八二カム構造 : H₃O₂

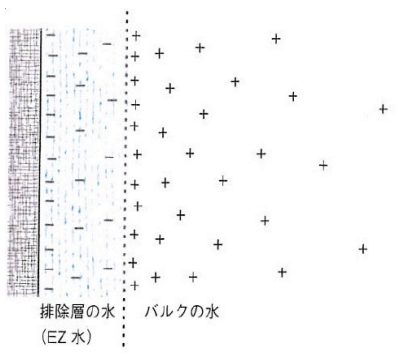


図 5.10 排除層により形成される水電池の図解。左端は親水性の表面を示す。分離された電荷のエネルギーは抽出することができる。

計算式：

水素 $\frac{1}{2} \times 6 = 3$

酸素 $\frac{1}{3} \times 6 = 2$

電荷：

水素 $3 \times (+1) = +3$

酸素 $2 \times (-2) = -4$

正味の電荷 -1



図 15.5 鍋の中の温水 (上図) と、マグカップの中の温水 (下図) に浮かぶモザイク柄。普通のカメラで撮影した。

図 4.10 六角形一つ当たりの正味の電荷の計算方法。計算にあたり、各原子をスライス可能なパイに見立てる。次に一つの六角形の正味内側に存在するすべての原子パイのスライスの数を合計する。酸素パイ 1 枚分の電荷は -2 で、水素パイは +1 だ。集計すると水素：酸素 = 3：2 となり、一つの六角形に含まれる正味の電荷は -1 となる。



図 15.6 低い角度から可視光線を照射することにより観察されたモザイク柄。

水 + ヒドロニウムイオン ⇒ 水

(a) (b)

排除層の自然な侵食。ヒドロニウムイオンが排除層を構成する一つの構造単位と結ぶことにより、格子の中からその構造単位を引き抜く。その結果、二つの水分子が生成

図 4.13 直線的にずらすことによって作られる可能な積層パターン。上下の平面の間で反対の電荷同士が重なることにより、安定したパターンが作り出されるのは、右の図のみである。

第二章 共振装置による現実生活への応用（10）

マイクロチューブルは2種類のタンパク質、ダイニンとキネシンが六角形の格子状に組み上がった中空シリンダー構造になり直径は25nmで長さは数 μm です、微小管の中を神経の束が通りシナプス(神経細胞)で接続されています。

微小管を構成するタンパク質は横幅4nmと長さ8nmサイズになり電子的に結合しているだけなので位置が変わります。

細胞は12khz \sim 8Mhz発生させ、ゆらぎ出し神経パルスが流れ、ゆらぎが発生し微小管のタンパク質がゆらいで配置が変わり、モータータンパク質とも言われています。

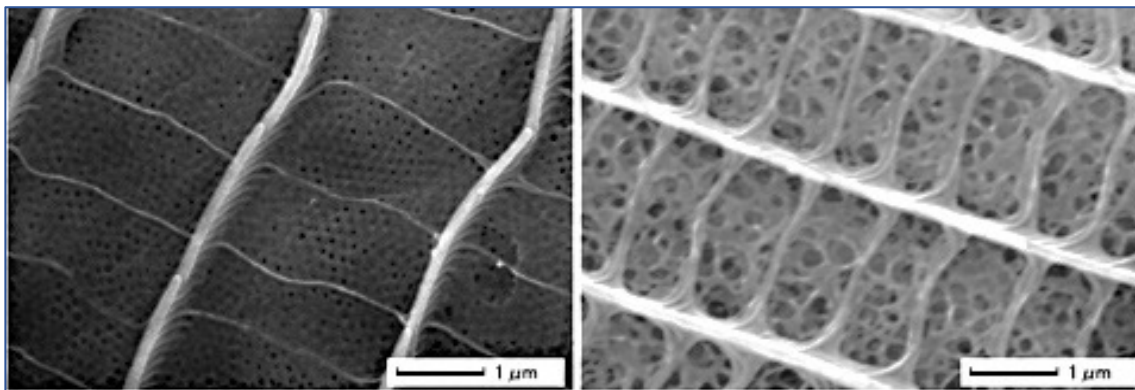
人が亡くなるときに、マイクロチューブルからの神経パルス信号により膨大な人の記憶が量子的な粒子として空間に放出され、また救急医により蘇生した場合、空間に放出された記憶の粒子は一瞬で体内に戻る事が分かり始めて来ています。

つまりマイクロチューブルを構成する六角形の形状や、水晶や水分子に存在する結晶の六角形構造体に非常に高いエネルギーの相関性を感じております。

また反重力を創り出すエネルギー構造体にも六角形の形状が非常に強く存在し、身近な所では昆虫の眼や羽根などに挙げられます。

1例ではマルハナバチと言う蜂がいますが、体に対して羽根の比率が小さく、現代の航空力学では絶対に飛べない事になりますが、実際には羽根に六角形のセル状のスポットがあり多くの電子的エネルギー（反重力）により飛翔する事が分かり始めています。

これらの事から言える事は生体エネルギーは宇宙エネルギーの一環であり細胞レベルから反重力に至るまで、また太古の昔から多くの遺跡構造物にまで六角形の形状、構造体が存在し、それこそが意識エネルギーと意識科学を繋ぐ形状や数字などに表されていると言っても過言ではありません！



昆虫の羽のハニカム構造



ハニカム構造体



鞍馬寺エネルギーサークル

第二章 共振装置による現実生活への応用（11）

2. 驚異的な食用油の改質による酸化度試験

(1) 食用油の改質への応用

植物性油は不飽和脂肪酸と呼ばれ、代表はオレイン酸、リノール酸、リレン酸です。これらの分子間には二重結合があります。

この二重結合のところで分子は折れ曲がる為、油脂の分子どうしは密接しにくく、分子間もあまりはたつきません、そのため油脂の分子間は比較的自由に動きます。

例えばオリーブオイルなどは、これらの不飽和脂肪酸が多く含まれますので常温でも液体なのです。

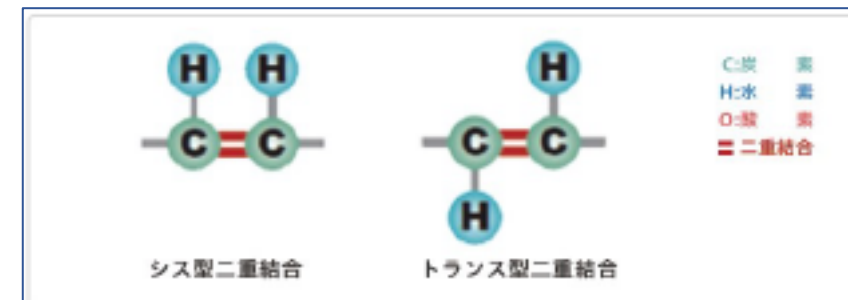
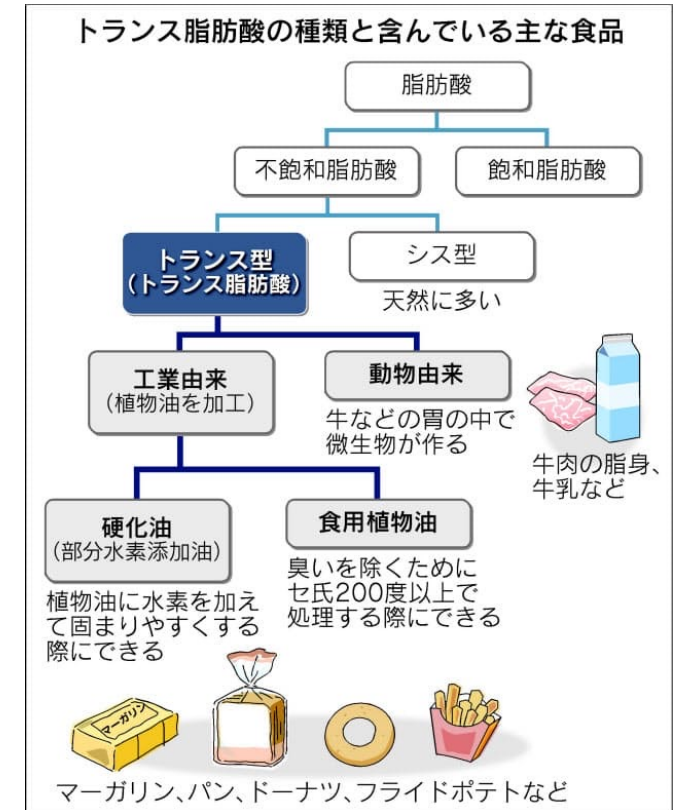
トランス脂肪酸とは液体の油脂を固まらせて扱いやすくするために不飽和脂肪酸の二重結合の部分に水素を付加して二重結合をなくしてしまう方法があります。

ところが付加した水素が外れて二重結合に戻る事があります。油の分子はもともとシス型ですが、この時に異性体であるトランス型が生まれてしまいます、これがトランス脂肪酸ですトランス脂肪酸は心筋梗塞などのリスクを高めるとする報告がありトランス脂肪酸の接種量を総エネルギー量の1%未満に抑えるべきとの目安を示しています。

日本人の平均的な接種量は総エネルギーの0.3%であると言われています。

しかしながら昨今の流通されている植物性油の多くは最初からトランス型になっているとも言われ始め、病を生み出す原因とも考えられています。

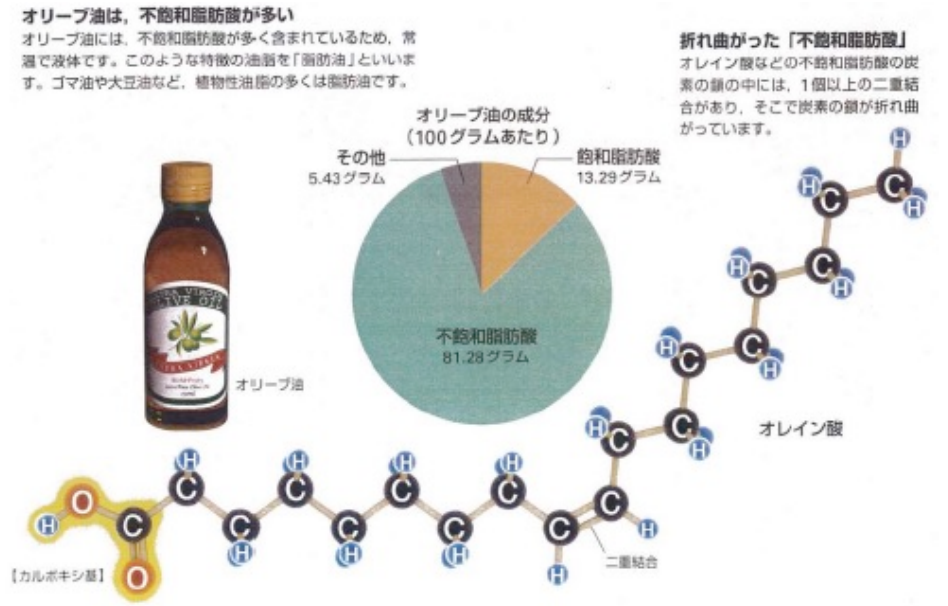
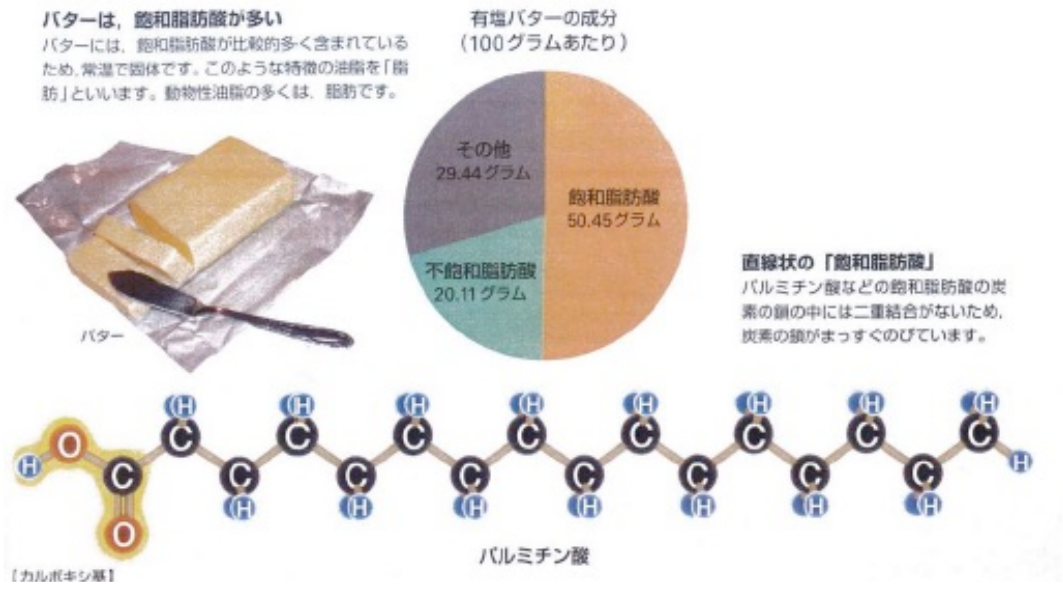
共振装置の共振応用で改質された食用油は本来のシス型分子構造体に戻り電子活性化により遠赤外線の影響化を含む大幅に跳ねづらい油に仕上がります通常の食品を揚げるだけでなく水分を多く含む食品対象物も調理可能になっています（3H共振仕様）遊離脂肪酸、油の沸点、脂質化合物、油脂の酸化度に大幅な変化が発生します。



考察

油の酸化度が通常の油と比較して2倍～3倍延び、油内の遠赤外線改質効果や電子活性効果により調理材料の旨味が格段に仕上がりに、鳥の唐揚げなどは翌日に持ち越しても旨味に変化が発生しづらい事で、現在多くの量販店にて油の改質依頼を受けております。

2019年の一般社団法人さいしんコラボ産学官選考会にて跳ねづらい油の改質で埼玉の代理店さんが出展し理化学研究所が審査し優秀賞を頂きました日経新聞の記事の掲載など中小企業庁の支援もあり、現在はJETROや海外からのオファーで活躍していますが技術力では当時の横波タイプは共振装置の10分の1の改質力になり、現在の共振装置は縦波と横波の発生装置により情報を転送する機能性を含んだ仕様になります。



3. 食用油の改質試験データ（1 / 2）

埼食協検第 OB190477-07 号
2019年 8月23日

試験検査成績書

様

試験品の名称 油脂B
付記事項 7/31検査

2019年 7月19日 付で 提出された試験品について行なった検査の結果は下記のとおりです。

厚生労働大臣登録検査機関
一般社団法人
埼玉県食品衛生協会検査センター
〒330-0855 埼玉県さいたま市大宮区上小町1450番地

記

試験項目	試験結果	検出限界	試験方法
酸価	0.93		食品衛生検査指針による方法
過酸化価	15.88		食品衛生検査指針による方法
カルボニル価	40.22		2,4-ジニトロフェニルヒドラジン・ブタノール法

埼食協検第 OB190477-03 号
2019年 8月23日

試験検査成績書

様

試験品の名称 油脂A(改質)
付記事項 7/31検査

2019年 7月19日 付で 提出された試験品について行なった検査の結果は下記のとおりです。

厚生労働大臣登録検査機関
一般社団法人
埼玉県食品衛生協会検査センター
〒330-0855 埼玉県さいたま市大宮区上小町1450番地

記

試験項目	試験結果	検出限界	試験方法
酸価	0.76		食品衛生検査指針による方法
過酸化価	9.18		食品衛生検査指針による方法
カルボニル価	28.12		2,4-ジニトロフェニルヒドラジン・ブタノール法

第二章 共振装置による現実生活への応用（14）

3. 食用油の改質試験VIDEOデータ（2 / 2）



揚げ物試験



グリーンバナナパウダーの
溶解試験

第二章 共振装置による現実生活への応用（15）

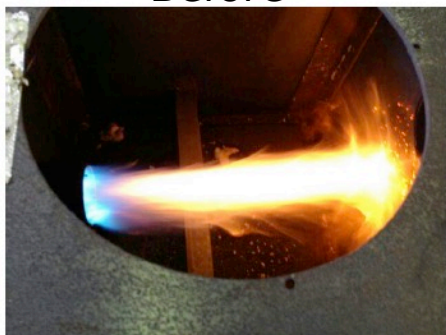
（2）鉱物油（軽油、灯油、A重油等）の改質への応用（1 / 2）

金属やプラスチック等などの樹脂類、繊維類またはコスメクリーム状物質、化学物質（石油製品等）シリコン、鉱石、紙類など全ての個体に変化が発生します。

PGの火炎テスト

火の色が違う

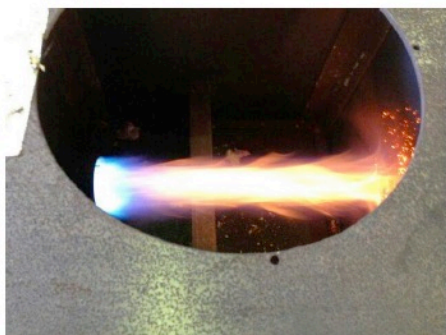
PB Refine取り付け前の火炎状態画像
1回目 Before



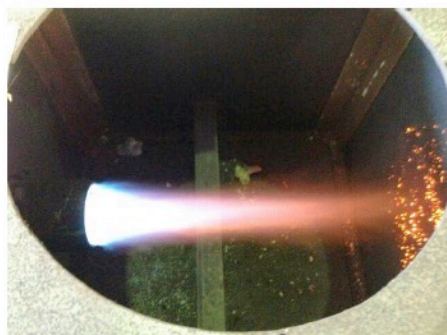
PB Refine取り付け後の火炎状態画像
1回目 After



PB Refine取り付け前の火炎状態画像
2回目 Before

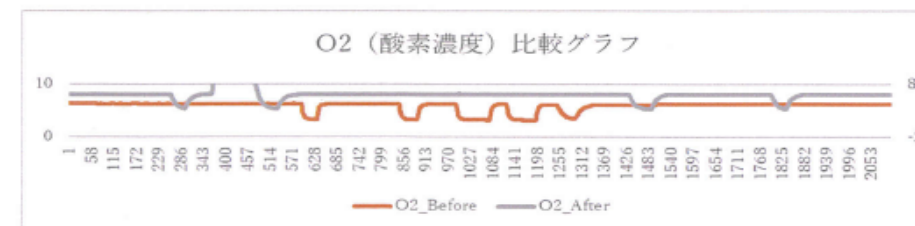


PB Refine取り付け後の火炎状態画像
2回目 After



1. 目的
燃料の削減とCO2の排出量を軽減するために、Multiple_Junior（製品名）設置の実現を図ることにより、省エネルギー化を推進する。
2. 方法
ボイラーでホダカ株式会社の排ガス測定器で、A重油の削減を得るために、以下の測定を実施する。
3. 結果
① ボイラーSU-750ZSについて
このボイラーは、燃焼効率95%で1時間のA重油消費量は、48.6ℓの簡易貫流蒸気ボイラーである。

② 『Multiple_Junior』 設置前、設置後の比較



A. 設置前

- ・2100秒内でのバーニング回数（低燃焼から高燃焼までの回数を言う）は、高燃焼5回。
- ・2100秒でのA重油使用量は、高燃焼時間430秒。
 $(430\text{sec}/3600\text{sec}) \times 48.6\ell = 5.805\ell$ A重油を消費している。

B. 設置後

- ・2100秒でのバーニング回数は、4回。
- ・2100秒でのA重油使用量は、高燃焼時間346秒。
 $(346\text{sec}/3600\text{sec}) \times 48.6\ell = 4.671\ell$ A重油を消費している。
- ・取り付け後、電源投入開始から約360秒後、給水が間に合わなくてボイラーが緊急停止した。（給水管がケイ素等で配管径が細くなっていると装置を取り付けたことで給水が間に合わなくなったと思われる。）
- ・2100秒間でのA重油の削減と削減率は、
 $5.805\ell - 4.671\ell = 1.134\ell$ 削減
 $(1.134\ell/5.805\ell) \times 100 = 19.5\%$ のA重油削減効果が見られる。

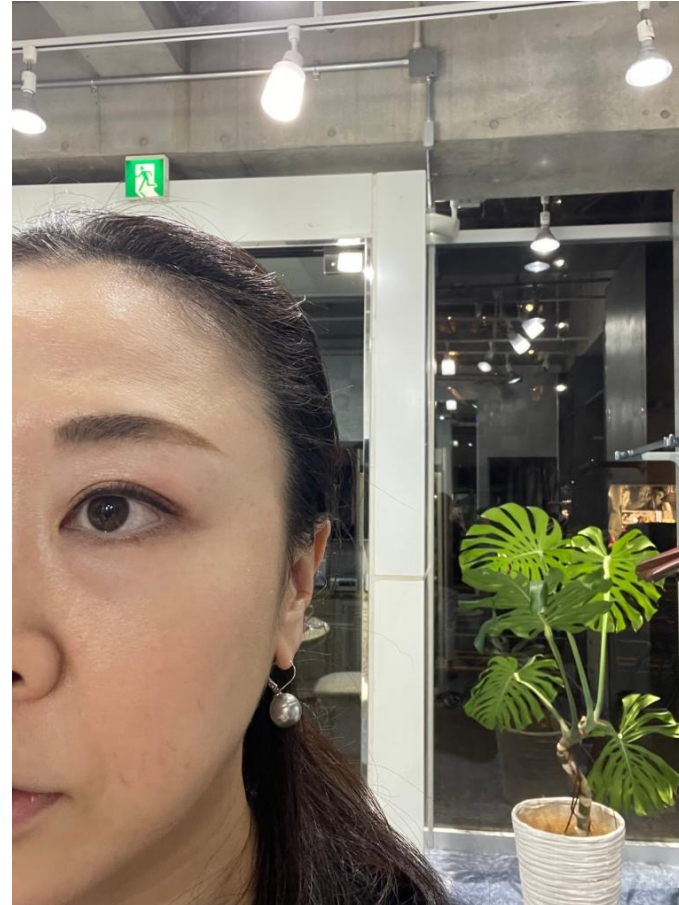
第二章 共振装置による現実生活への応用（16）

（2）鉱物油（軽油、灯油、A重油等）の改質への応用（2 / 2）

金属やプラスチック等などの樹脂類、繊維類またはコスメクリーム状物質、化学物質（石油製品等）シリコン、鉱石、紙類など全ての個体に変化が発生します。



Before



After

1. 二酸化塩素の共振化における豚コロナウイルス試験 (1 / 2)

No.207494N

7. 供試ウイルス
PED ウイルス: Porcine epidemic diarrhea virus P-5V 株
※豚感染性のコロナウイルス
培養細胞: vero 細胞 (アフリカミドリザルの腎臓上皮由来株化細胞)

8. 区の設定

区	処置	感作時間
対照区	無処置	試験開始後 0、1、3、6 時間
試験区	試験資材設置	試験開始後 1、3、6 時間

9. 試験方法
「ウイルス実験学 総論 改訂二版 丸善株式会社 ウイルス中和試験法」を参考として実施した。

10. 試験手順
①ウイルス設置:
試験環境として 1m³のアクリルボックスを用意した。
供試ウイルス培養液を 1mL 付着させた滅菌不織布 (10cm×10cm) を試験設定の試験区分毎に作成して試験片とし、ボックス中心付近にクランプで懸架した。
なお、室温は 25℃とした。

- ②試験資材:
対照区はウイルス試験片設置後そのまま密閉、試験区は試験資材を入れたガラスシャーレをボックス底面に設置した上で、ボックスを密閉した。

- ③採材:
試験設定に従い、一定時間経過後、試験片を取り出し、滅菌バッグに移し、細胞維持培地 10mL に加えてよく攪拌し、残存ウイルスを洗い出した。

- ④細胞接種:
試験区分ごとにウイルスを回収した洗い出し液を、細胞維持培地でそれぞれ 10 倍段階希釈し、96well プレートに培養した細胞に 100μL ずつ接種した。
判定は、37℃、炭酸ガス培養 (5%) で 5 日間培養した後、培養細胞を顕微鏡観察し、培養細胞に現れる CPE (細胞変性) をもってウイルス増殖の有無を確認し、各試験片におけるウイルス感染価を算出した。

- ⑤減少率の計算:
対照区における試験終了時のウイルス感染価と比較して、各試験区の測定時点のウイルス感染価の減少率を算出した。

No.207494N

1. 表題
試験資材のウイルスに対する不活化効果試験 (1m³付着試験)
2. 試験番号
No.207494N
3. 目的
1m³空間において、豚コロナウイルス (PEDV) を付着させた状態で試験資材を使用した時のウイルス不活化効果を確認するために実施した。
4. 試験管理組織
試験依頼者の名称及び所在地
名称 ユーロフィン・フードアンドプロダクト・テストング株式会社
所在地 236-0003 神奈川県横浜市金沢区幸浦 2-1-13

実施機関の名称、所在地及びその長の氏名
名称 株式会社 食環境衛生研究所
所在地 群馬県前橋市荒口町 561-21
氏名 代表取締役 久保 一弘

試験実施責任者の氏名
松本 彰平

試験担当者の氏名
近藤 実紀
5. 試験スケジュール
試験受託日 2020年10月23日
試験開始日 2021年1月18日
試験終了日 2021年2月25日

6. 試験資材
Rexide
※試験品は開封後、内容物を 15cm 径ガラスシャーレに取り出してそのまま使用した。

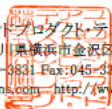
発行 No.: EUJPT06-00006199
2021年3月19日

検査結果報告書

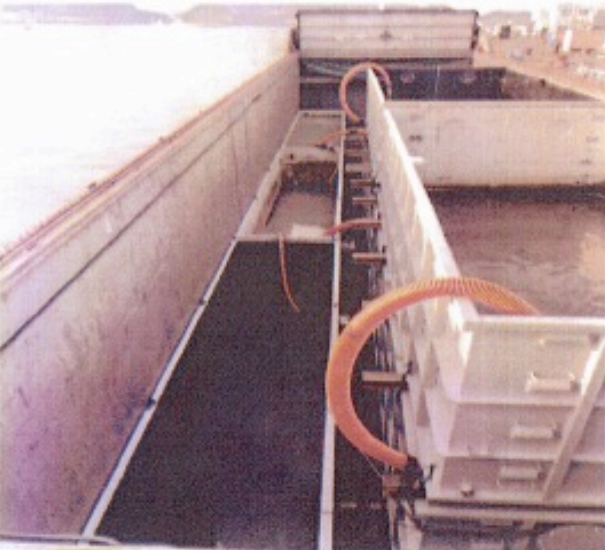
ご依頼を受けました試料につきまして、検査の結果を次の通り報告致します。

試験番号: 207494N
試料: Rexide

ユーロフィン・フードアンドプロダクト・テストング株式会社
〒236-0003 神奈川県横浜市金沢区幸浦 2-1-13
Tel: 045-780-3831 Fax: 045-440-0021
Email: cptjapan@eurofins.com http://www.eurofins.co.jp/



2. 在日米軍基地における汚水処理試験データ (1 / 2)



第三章 過去データ・エビデンスのオムニバス

2. 在日米軍基地における汚水処理試験データ (2 / 2)

濃度計量証明書

発行No 43412397-01B-1 1/1
 発行日 2017年1月16日
 試料受付 2016年12月28日 採取区分 持ち込み
 試験期間 2016年12月28日 ~ 2017年1月16日
 採取場所 横須賀米軍基地
 件名 船のビルジ内の浄水サービス
 ユーザー 株式会社 日本環境株式会社
 本社 千葉県 横須賀市 会沢区 幸浦2-1-13
 電話 046-780-3851
 計量証明 千葉県 川崎 市 幸野 1-1-1 第1号
 計量管理者 高木 正浩



ご依頼を受けました試料について、計量の結果を次の通り証明いたします。*は計量法第107条の対象外。

試料名称	処理前		12月27日	
	計量の対象	計量の結果	定値 下限値	単位
水素イオン濃度 (pH)	7.1 (18.4℃)	-	-	-
生物化学的酸素要求量 (BOD)	4700	1	mg/L	JIS K 0102 12.1 (ガラス電極法)
化学的酸素要求量 (COD)	2400	1	mg/L	JIS K 0102 21 及び 32.3 (隔膜電極法)
浮遊物質 (SS)	1500	1	mg/L	JIS K 0102 17 (測定法)
n-ヘキサン抽出物質 (鉱油)	1900	2	mg/L	昭和46年環境庁告示第59号 付表9 (ろ過重量法)
n-ヘキサン抽出物質 (動植物油)	9800	1	mg/L	JIS K 0102 28.1.1 (抽出分離法-フッ化炭素法)
フェノール類	0.06	0.05	mg/L	JIS K 0102 28.1.2 (吸光光度法)
銅	360	0.05	mg/L	JIS K 0102 52.4 (ICP発光分光分析法)
亜鉛	1000	0.05	mg/L	JIS K 0102 53.3 (ICP発光分光分析法)
溶解性鉄	6.2	0.1	mg/L	JIS K 0102 57.4 及び 備考5 (ICP発光分光分析法)
溶解性マンガン	4.3	0.05	mg/L	JIS K 0102 56.4 及び 備考3 (ICP発光分光分析法)
全クロム	1.8	0.02	mg/L	JIS K 0102 65.1.4 (ICP発光分光分析法)
カドミウム	0.64	0.01	mg/L	JIS K 0102 55.4 (ICP/MS法)
全シアン	0.1 未満	0.1	mg/L	JIS K 0102 38.1.2 及び 38.5 (濾液分析法)
有機燐	0.1 未満	0.1	mg/L	昭和49年環境庁告示第64号 付表1 (GC (FTD) 法)
鉛	24	0.01	mg/L	JIS K 0102 54.4 (ICP/MS法)
六価クロム	0.02 未満	0.02	mg/L	JIS K 0102 65.2.6 (濾液分析法)
砒素	0.28	0.01	mg/L	JIS K 0102 61.4 (ICP/MS法)
総水銀	0.0020	0.0005	mg/L	昭和46年環境庁告示第59号 付表1 (還元酸化原子吸光法)
アルキル水銀	不検出	0.0005	mg/L	昭和46年環境庁告示第59号 付表2 (GC法)
P C B	0.0005 未満	0.0005	mg/L	昭和46年環境庁告示第59号 付表3 (GC法)
トリクロロエチレン	0.001 未満	0.001	mg/L	JIS K 0125 5.2 (HS-GC/MS法)
テトラクロロエチレン	0.001 未満	0.001	mg/L	JIS K 0125 5.2 (HS-GC/MS法)
ジクロロメタン	0.02 未満	0.02	mg/L	JIS K 0125 5.2 (HS-GC/MS法)
四塩化炭素	0.002 未満	0.002	mg/L	JIS K 0125 5.2 (HS-GC/MS法)
1,2-ジクロロエタン	0.004 未満	0.004	mg/L	JIS K 0125 5.2 (HS-GC/MS法)
1,1-ジクロロエチレン	0.02 未満	0.02	mg/L	JIS K 0125 5.2 (HS-GC/MS法)
シス-1,2-ジクロロエチレン	0.001 未満	0.001	mg/L	JIS K 0125 5.2 (HS-GC/MS法)
トランス-1,2-ジクロロエチレン	0.001 未満	0.001	mg/L	JIS K 0125 5.2 (HS-GC/MS法)
1,1,1-トリクロロエタン	0.006 未満	0.006	mg/L	JIS K 0125 5.2 (HS-GC/MS法)
1,1,2-トリクロロエタン	0.006 未満	0.006	mg/L	JIS K 0125 5.2 (HS-GC/MS法)
1,1,2,2-テトラクロロエタン	0.002 未満	0.002	mg/L	JIS K 0125 5.2 (HS-GC/MS法)
1,1,2,2,2-ペンタクロロエタン	0.006 未満	0.006	mg/L	JIS K 0125 5.2 (HS-GC/MS法)
1,1,2,2,2,2-ヘキサクロロエタン	0.002 未満	0.002	mg/L	JIS K 0125 5.2 (HS-GC/MS法)
チウラム	0.006 未満	0.006	mg/L	昭和46年環境庁告示第59号 付表4 (固相抽出-HPLC法)
シマジン	0.003 未満	0.003	mg/L	昭和46年環境庁告示第59号 付表5 (固相抽出-HPLC法)
チオベンカルブ	0.02 未満	0.02	mg/L	昭和46年環境庁告示第59号 付表6 (固相抽出-HPLC法)
ベンゼン	0.01	0.01	mg/L	JIS K 0125 5.2 (HS-GC/MS法)
セレン	0.02	0.01	mg/L	JIS K 0102 67.4 (ICP/MS法)
ほう素	1 未満	1	mg/L	JIS K 0102 47.3 (ICP発光分光分析法)
ふっ素	2.6	0.8	mg/L	JIS K 0102 34.2 (イオン電極法)
アンモニア、アンモニウム化合物、亜硝酸化合物及び硝酸化合物	3.4	0.1	mg/L	JIS K 0102 42.1 及び 42.2, 43.1 及び 43.2
1,4-ジオキサン	0.0 未満	0.05	mg/L	昭和46年環境庁告示第59号 付表7 (固相抽出-GC/MS法)
大腸菌群数*	1600	1	個/mL	昭和37年厚生省及び建設省告示第1号 別表第1 (平板法)
以下余白				

Before

濃度計量証明書

発行No 43412397-01B-2 1/1
 発行日 2017年1月16日
 試料受付 2016年12月28日 採取区分 持ち込み
 試験期間 2016年12月28日 ~ 2017年1月16日
 採取場所 横須賀米軍基地
 件名 船のビルジ内の浄水サービス
 ユーザー 株式会社 日本環境株式会社
 本社 千葉県 横須賀市 会沢区 幸浦2-1-13
 電話 046-780-3851
 計量証明 千葉県 川崎 市 幸野 1-1-1 第1号
 計量管理者 高木 正浩



ご依頼を受けました試料について、計量の結果を次の通り証明いたします。*は計量法第107条の対象外。

試料名称	処理後		12月27日	
	計量の対象	計量の結果	定値 下限値	単位
水素イオン濃度 (pH)	4.6 (19.2℃)	-	-	-
生物化学的酸素要求量 (BOD)	19	1	mg/L	JIS K 0102 12.1 (ガラス電極法)
化学的酸素要求量 (COD)	46	1	mg/L	JIS K 0102 21 及び 32.3 (隔膜電極法)
浮遊物質 (SS)	49	1	mg/L	JIS K 0102 17 (測定法)
n-ヘキサン抽出物質 (鉱油)	2 未満	2	mg/L	昭和46年環境庁告示第59号 付表9 (ろ過重量法)
n-ヘキサン抽出物質 (動植物油)	2	1	mg/L	JIS K 0102 28.1.1 (抽出分離法-フッ化炭素法)
フェノール類	0.05 未満	0.05	mg/L	JIS K 0102 28.1.2 (吸光光度法)
銅	0.27	0.05	mg/L	JIS K 0102 52.4 (ICP発光分光分析法)
亜鉛	6.9	0.05	mg/L	JIS K 0102 53.3 (ICP発光分光分析法)
溶解性鉄	16	0.1	mg/L	JIS K 0102 57.4 及び 備考5 (ICP発光分光分析法)
溶解性マンガン	0.29	0.05	mg/L	JIS K 0102 56.4 及び 備考3 (ICP発光分光分析法)
全クロム	0.02 未満	0.02	mg/L	JIS K 0102 65.1.4 (ICP発光分光分析法)
カドミウム	0.01 未満	0.01	mg/L	JIS K 0102 55.4 (ICP/MS法)
全シアン	0.1 未満	0.1	mg/L	JIS K 0102 38.1.2 及び 38.5 (濾液分析法)
有機燐	0.1 未満	0.1	mg/L	昭和49年環境庁告示第64号 付表1 (GC (FTD) 法)
鉛	0.01	0.01	mg/L	JIS K 0102 54.4 (ICP/MS法)
六価クロム	0.02 未満	0.02	mg/L	JIS K 0102 65.2.6 (濾液分析法)
砒素	0.01 未満	0.01	mg/L	JIS K 0102 61.4 (ICP/MS法)
総水銀	0.0005 未満	0.0005	mg/L	昭和46年環境庁告示第59号 付表1 (還元酸化原子吸光法)
アルキル水銀	不検出	0.0005	mg/L	昭和46年環境庁告示第59号 付表2 (GC法)
P C B	0.0005 未満	0.0005	mg/L	昭和46年環境庁告示第59号 付表3 (GC法)
トリクロロエチレン	0.001 未満	0.001	mg/L	JIS K 0125 5.2 (HS-GC/MS法)
テトラクロロエチレン	0.001 未満	0.001	mg/L	JIS K 0125 5.2 (HS-GC/MS法)
ジクロロメタン	0.02 未満	0.02	mg/L	JIS K 0125 5.2 (HS-GC/MS法)
四塩化炭素	0.002 未満	0.002	mg/L	JIS K 0125 5.2 (HS-GC/MS法)
1,2-ジクロロエタン	0.004 未満	0.004	mg/L	JIS K 0125 5.2 (HS-GC/MS法)
1,1-ジクロロエチレン	0.02 未満	0.02	mg/L	JIS K 0125 5.2 (HS-GC/MS法)
シス-1,2-ジクロロエチレン	0.001 未満	0.001	mg/L	JIS K 0125 5.2 (HS-GC/MS法)
トランス-1,2-ジクロロエチレン	0.001 未満	0.001	mg/L	JIS K 0125 5.2 (HS-GC/MS法)
1,1,1-トリクロロエタン	0.006 未満	0.006	mg/L	JIS K 0125 5.2 (HS-GC/MS法)
1,1,2-トリクロロエタン	0.006 未満	0.006	mg/L	JIS K 0125 5.2 (HS-GC/MS法)
1,1,2,2-テトラクロロエタン	0.002 未満	0.002	mg/L	JIS K 0125 5.2 (HS-GC/MS法)
1,1,2,2,2-ペンタクロロエタン	0.006 未満	0.006	mg/L	JIS K 0125 5.2 (HS-GC/MS法)
1,1,2,2,2,2-ヘキサクロロエタン	0.002 未満	0.002	mg/L	JIS K 0125 5.2 (HS-GC/MS法)
チウラム	0.006 未満	0.006	mg/L	昭和46年環境庁告示第59号 付表4 (固相抽出-HPLC法)
シマジン	0.003 未満	0.003	mg/L	昭和46年環境庁告示第59号 付表5 (固相抽出-HPLC法)
チオベンカルブ	0.02 未満	0.02	mg/L	昭和46年環境庁告示第59号 付表6 (固相抽出-HPLC法)
ベンゼン	0.01 未満	0.01	mg/L	JIS K 0125 5.2 (HS-GC/MS法)
セレン	0.01 未満	0.01	mg/L	JIS K 0102 67.4 (ICP/MS法)
ほう素	2	1	mg/L	JIS K 0102 47.3 (ICP発光分光分析法)
ふっ素	0.8 未満	0.8	mg/L	JIS K 0102 34.2 (濾液分析法)
アンモニア、アンモニウム化合物、亜硝酸化合物及び硝酸化合物	0.7	0.1	mg/L	JIS K 0102 42.1 及び 42.2, 43.1 及び 43.2
1,4-ジオキサン	0.05 未満	0.05	mg/L	昭和46年環境庁告示第59号 付表7 (固相抽出-GC/MS法)
大腸菌群数*	不検出	1	個/mL	昭和37年厚生省及び建設省告示第1号 別表第1 (平板法)
以下余白				

After

3. アクセサリー含む共振化の特性データ

試験結果報告書

No.217E- 364
平成29年3月22日

遠赤外線応用研究会
〒542-0081大阪市中央区南船場4-9-11

試験試料 ネックレス

- 測定環境
- 1) 測定日時 平成29年3月18日
 - 2) 測定環境 室温23℃ 湿度41%
 - 3) 測定機器 生体信号処理装置 フットテクノ製 ALPHA MASTER

測定

健康な成年女性（56才）を被験者とし、10分間安静状態を保った後、まずコントロールとして未使用状態で1分間の脳波を測定した。次いで供試のネックレスを120分間着用し、直後の1分間の脳波を測定した。
国際脳波学会用語委員会により、定められた脳波の各周波数は次の如くである。

- θ波：4Hz以上8Hz以下のもの
- α波：8Hz以上で13Hz以下のもの
- β波：13Hzより高いもの

結果

測定した脳波スペクトル変化を別グラフに、数値を下表に示す。

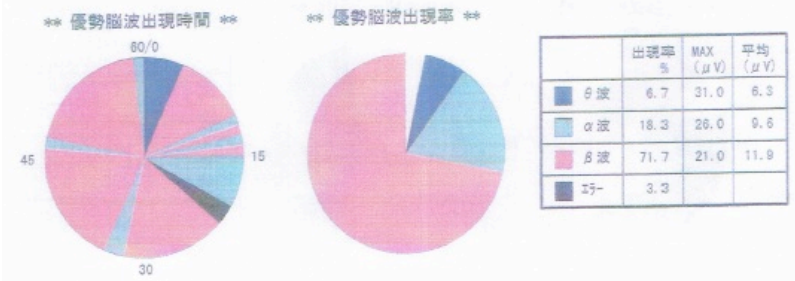
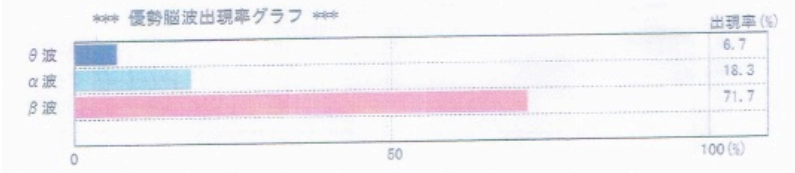
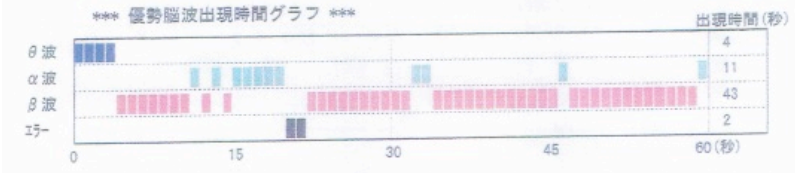
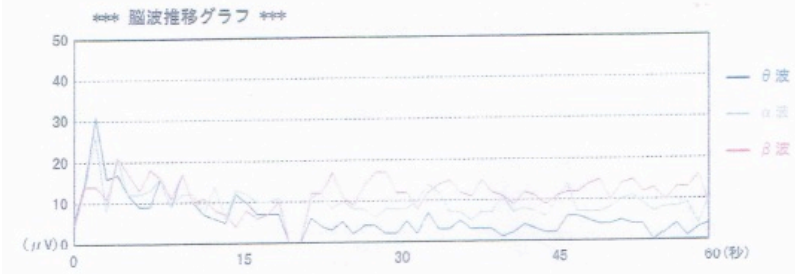
	θ波	α波	β波	α波の増減値
ネックレス着用前	6.7	18.3	71.7	11.7
ネックレス着用120分後	11.7	30.0	55.0	

(単位: %)

<脳波測定結果>

ネックレス着用前

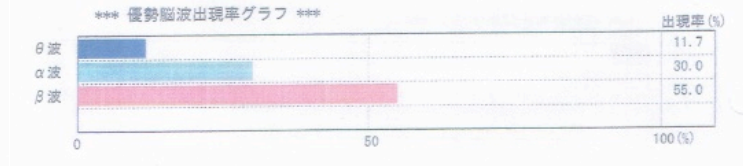
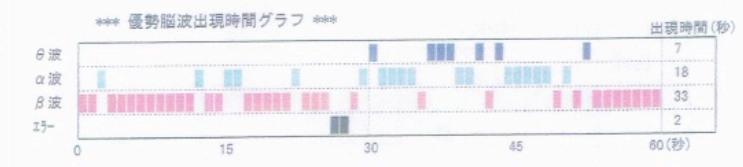
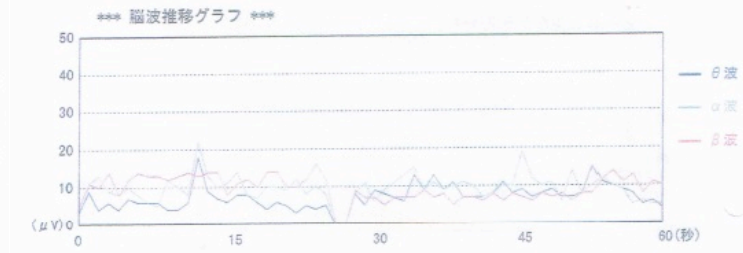
測定日:2017/03/18 測定時間:13:10:46



<脳波測定結果>

ネックレス着用120分後

測定日:2017/03/18 測定時間:15:21:06



4. 電磁波削減の簡易的テスト

ブレーカキットの電磁波(電界)テスト(参考資料)

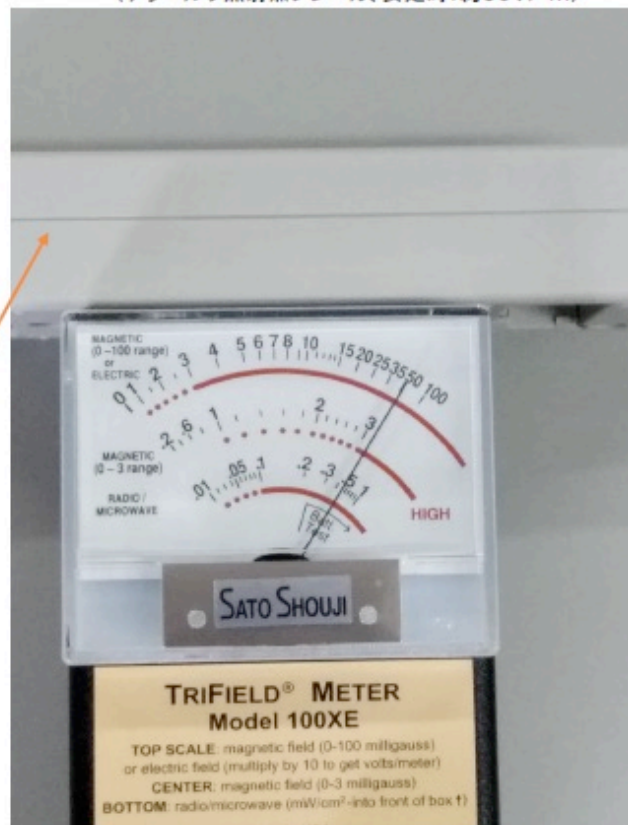
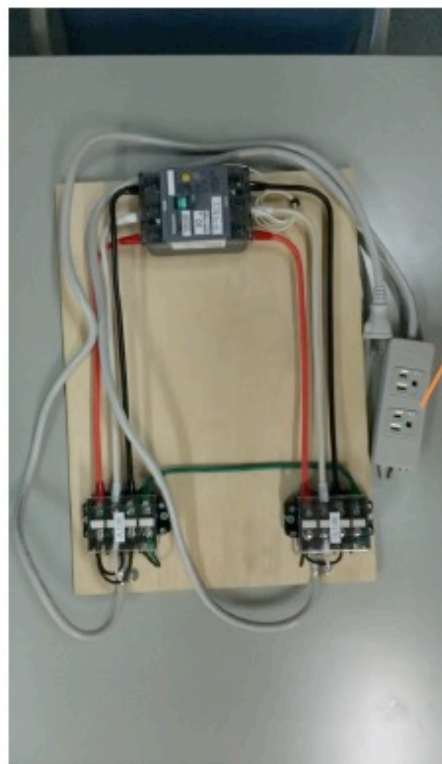
2018/4/5

1. テスト条件

- ・測定単位は電界(V/m=ボルト毎メートル)です。
- ・事務所のフロアコンセントよりブレーカキットを接続し、電界(V/m)のテラヘルツ有無比較テスト。
- ・電磁波測定器(トリフィールドメーター)を使用する。
- ・ブレーカキットのテラヘルツ有無(2台)を使用する。
- ・フロアコンセントは、TOSHIBA(DC8612、15A-125V)を使用する。
- ・ブレーカキット(漏電ブレーカ-Panasonic、BJN-30N、30A、AC100V/200V)を使用する。

①2018/4/5(木)の11時14分からテスト開始。(室温・湿度:21℃/56%)、テラヘルツ無

(テラヘルツ照射無ブレーカ、安定時:約50V/m)



②2018/4/5(木)の11時22分からテスト開始。(室温・湿度:21℃/56%)、テラヘルツ有

(テラヘルツ照射有ブレーカ、安定時:約22.5V/m)

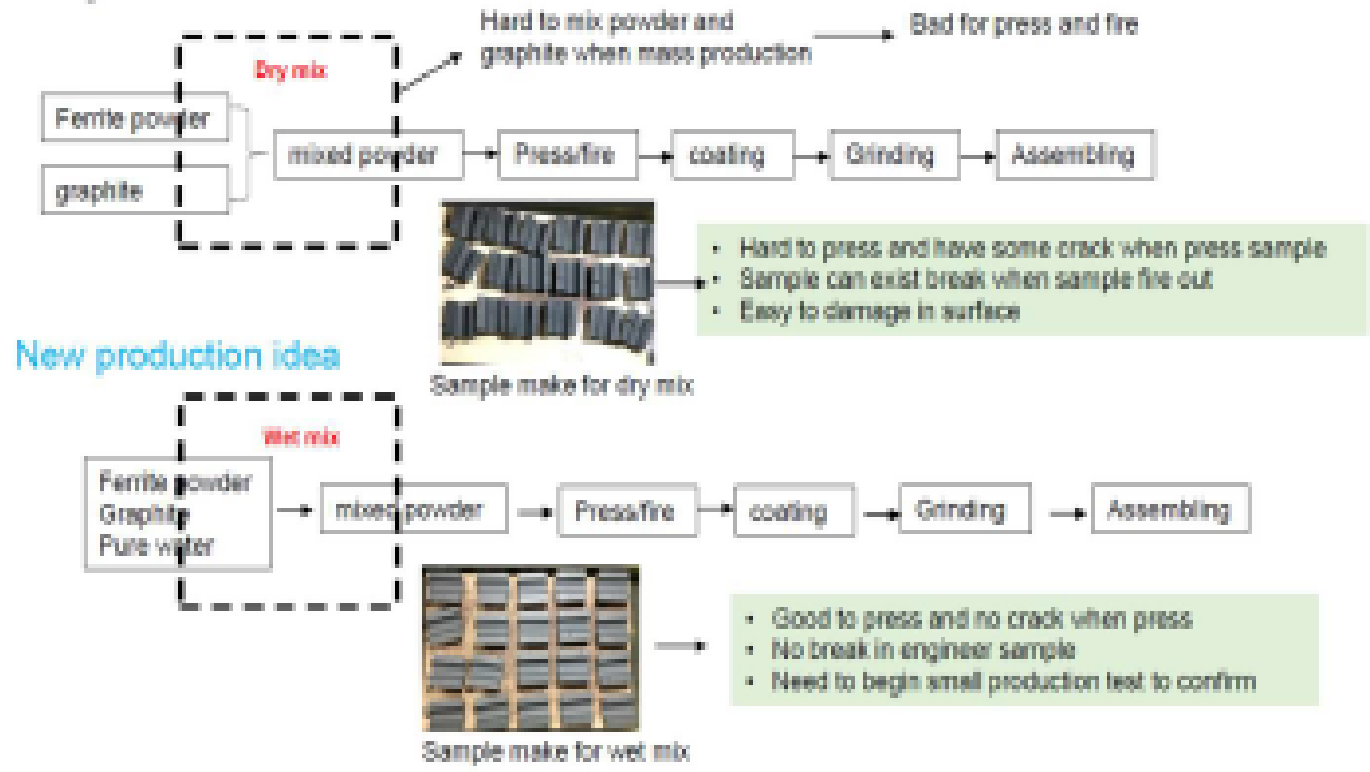


③まとめ

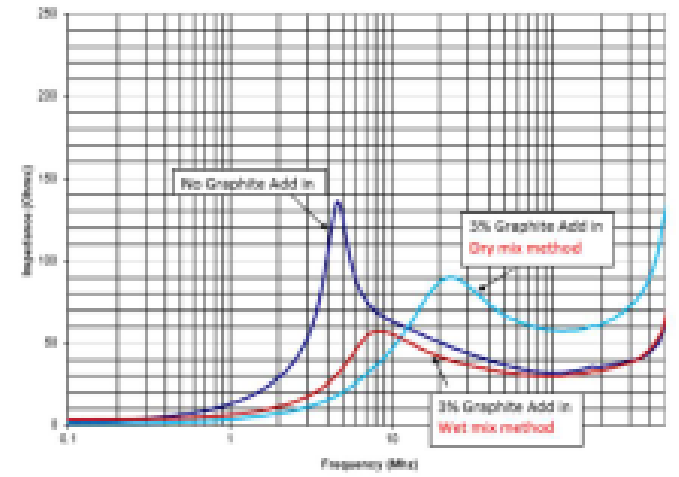
- ・テラヘルツ加工したブレーカの方が27.5V/mの電磁波(電界)の防止に繋がりました。
- ・一般的な家庭やオフィスにおける電磁波の基準値。
(磁界・磁場):床および3面の壁面で幹線からの距離が60cm以上の居室で3.0mG(ミリガウス)未満。
(電界・電場):床および高さ1m以下の壁面で25V/m(ボルト毎メートル)未満。
- ・上記の数値は、測定値であり保証値ではありません。

5. フェライトコアによる驚異的な現実生活への応用 スリーブクランプコアで電磁波ノイズ対策 (1 / 2)

Sample Process



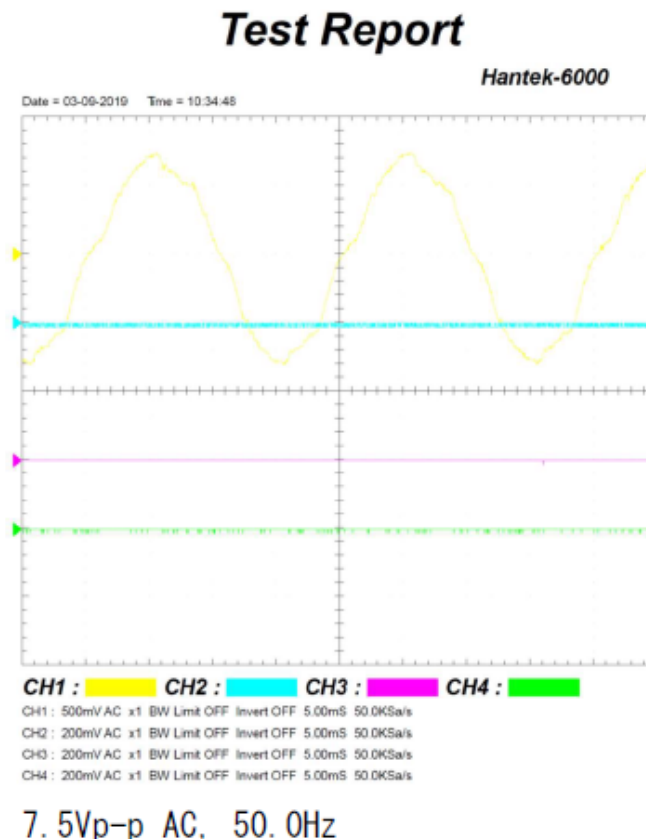
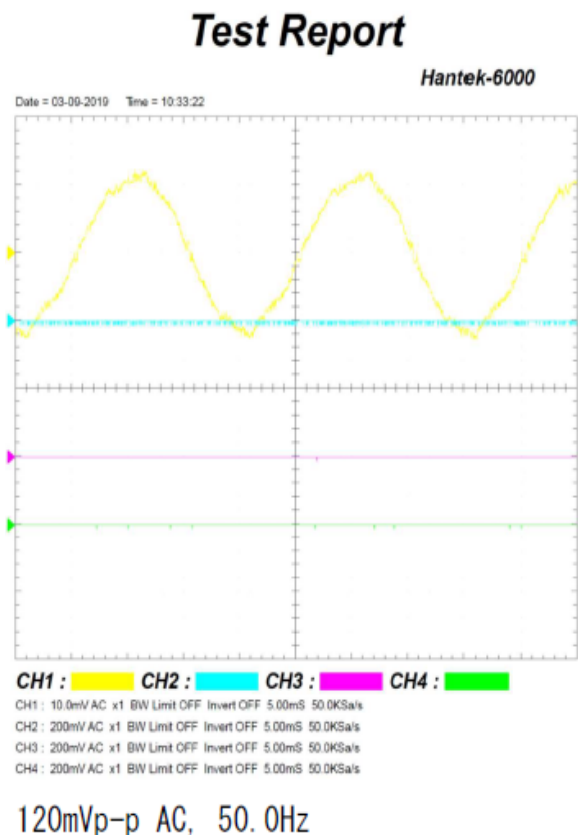
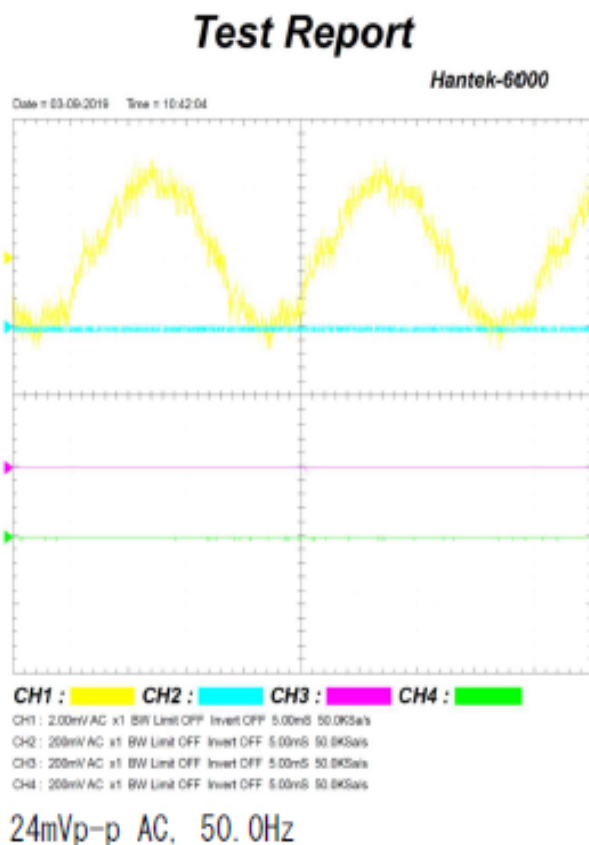
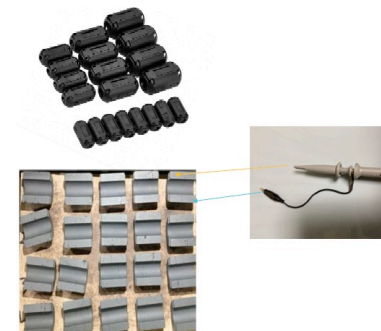
Performance



- 20kg ferrite powder is used to experiment this time
- production equipment is use to experiment to evaluate the process
- the possible reason for the lower performance is mix other material, which come from production equipment

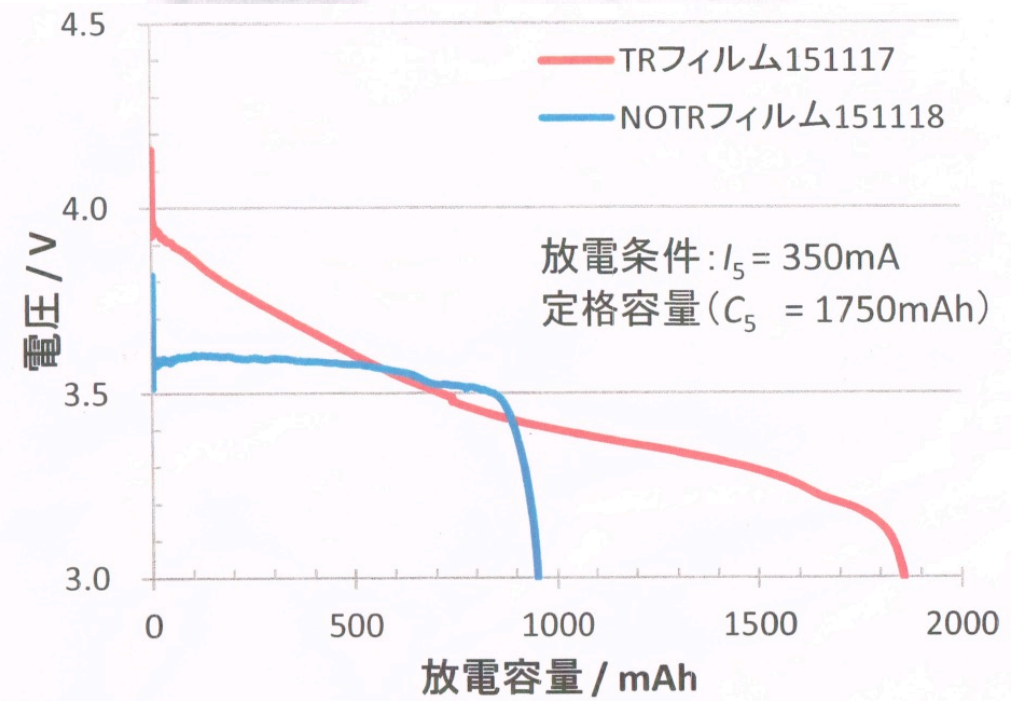
第三章 過去データ・エビデンスのオムニバス

5. フェライトコアによる驚異的な現実生活への応用 スリーブクランプコアで電磁波ノイズ対策 (2 / 2)



- ノーマルクランプコアは、100kHzから10MHzの範囲であるが、有機炭素入りクランプコアは、100kHzから1GHzまで使用できそうです。
- Dry mix methodとWet mix methodでは、Dry mix methodのほうが、周波数範囲が広く、電磁波ノイズ対策に向いているようです。
- Wet mix methodは、磁気抵抗が低く、我々が開発している装置で今まで以上の磁気パワーを得ることができそうです。
- 第三次試作でDry mix methodは、外観の状態をよくすることです。焼成温度に問題がありそうです。
- Wet mix methodは、次は二次試作になりますが、実際の装置に搭載して試験をしたい。

6. 電池に貼る金属製シールによる共振特性



様式第3号 依頼試験受付書

住所 _____ 整理番号 7772

会社名 _____

依頼者名 _____ 様

依頼試験を下記のとおり受付しました。
 なお、依頼試験手数料は、期限内にお支払いください。

地方独立行政法人
 大阪府立産業技術総合研究所理事長
 TEL (0725) 51-2525



記

受付年月日 平成27年12月 4日
 受付番号 02-02894

試料名		TRフィルム		NOTRフィルム		提出試料 (2) 点	
No	試験コード	試験名	試験係数	条件係数	試料数	試験料金 (円)	
1	A317	電池充放電および分極測定	2試料	1条件			
2							
3							
4							
5							

報告書発行 否 郵送 否 試料別に報告 否 試料返還 要

合計金額 _____



【お知らせ】

- ご依頼された試験内容の追加又は変更を行う場合に、改めて依頼試験受付書を交付します。
- なお、ご依頼された試験内容の変更等があった場合でも、着手済みの試験の手数料はお支払いいただきます。

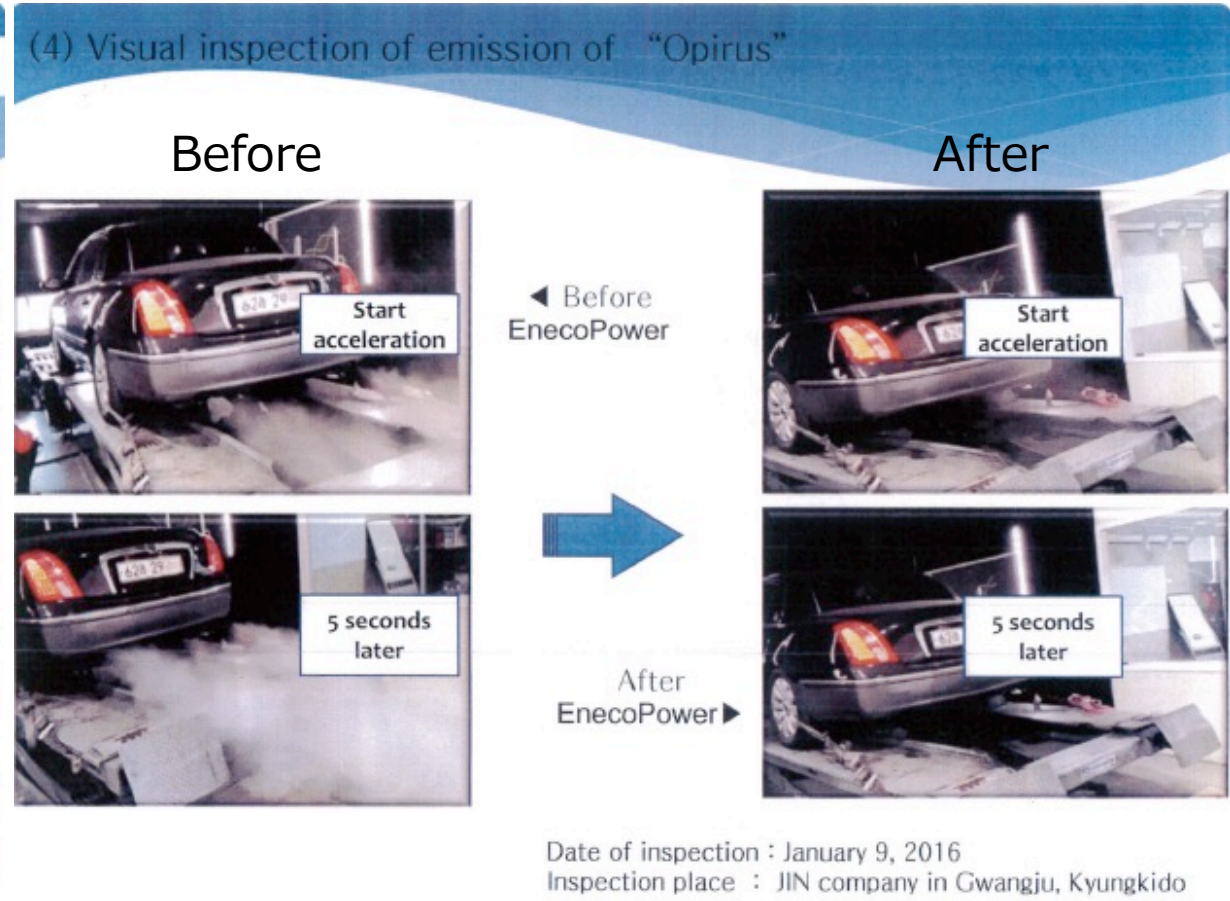
.....

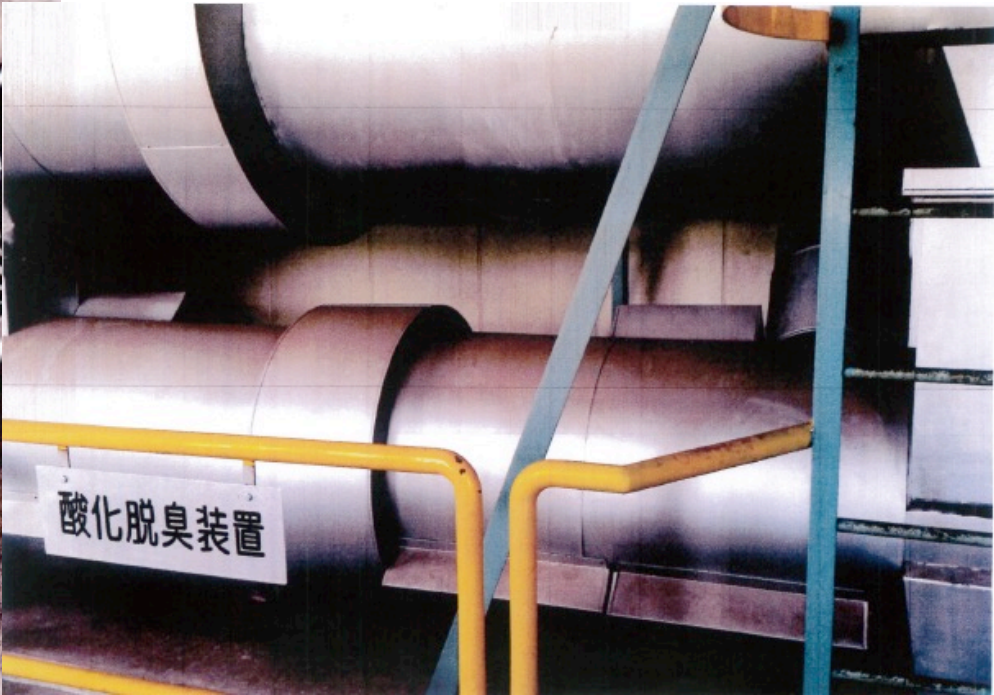
研究所が行った分析等の結果について、研究所の名義を広告、印刷物、電子文書等に使用しようとするときは、あらかじめ名義使用申請書を理事長に提出し、その承認を受ける必要があります。

地方独立行政法人大阪府立産業技術総合研究所
 総合受付 0725-51-2525

7. 自動車クーラント、フェライトコア、共振装置の直接転写による驚異的なエンジン特性の改質

Verification					
Case for performance improvement					
	Check List	Acceptable Standards	Measured Value		
			Before Use	After Use	Reduction Rate
Measurement of Exhaust	Carbon Monoxide	1.2%	0.5%	0.28%	44.0%
	Hydrocarbon	190.0ppm	217.0ppm	88.0ppm	59.46%
	Nitrogen Oxide	1,440.0ppm	616.0ppm	301.0ppm	51.1%
Car tested : 1996 Elentra, gasoline / Displacement 1,497cc / Mileage 114,000Km. Test result : 44 % ~ 59% exhaust reduction rate.					
Measurement of Exhaust	Exhaust mode 1	40%	58%	39%	33%
	Exhaust mode 2	40%	37%	33%	11%
	Exhaust mode 3	40%	25%	24%	4%
Car tested : Kyeonggi 2 Da 8341/ mileage 120,532Km. Test result : 4 % ~ 33% exhaust reduction rate.					





別紙 設置機械 (富士麗水ビバレッジ株式会社) 2019.8.25



タンク2・3



タンク1・2・3



入力電源・マルチプル保護BOX



マルチプル保護BOX
(Cruse)



マルチプル保護BOX
(Open)